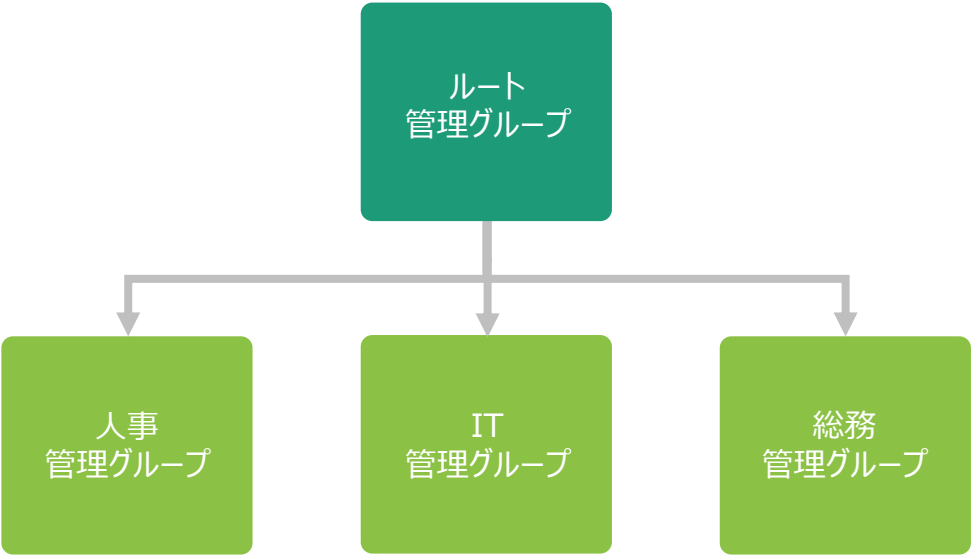


AZ-305

補足資料 Ver1.0

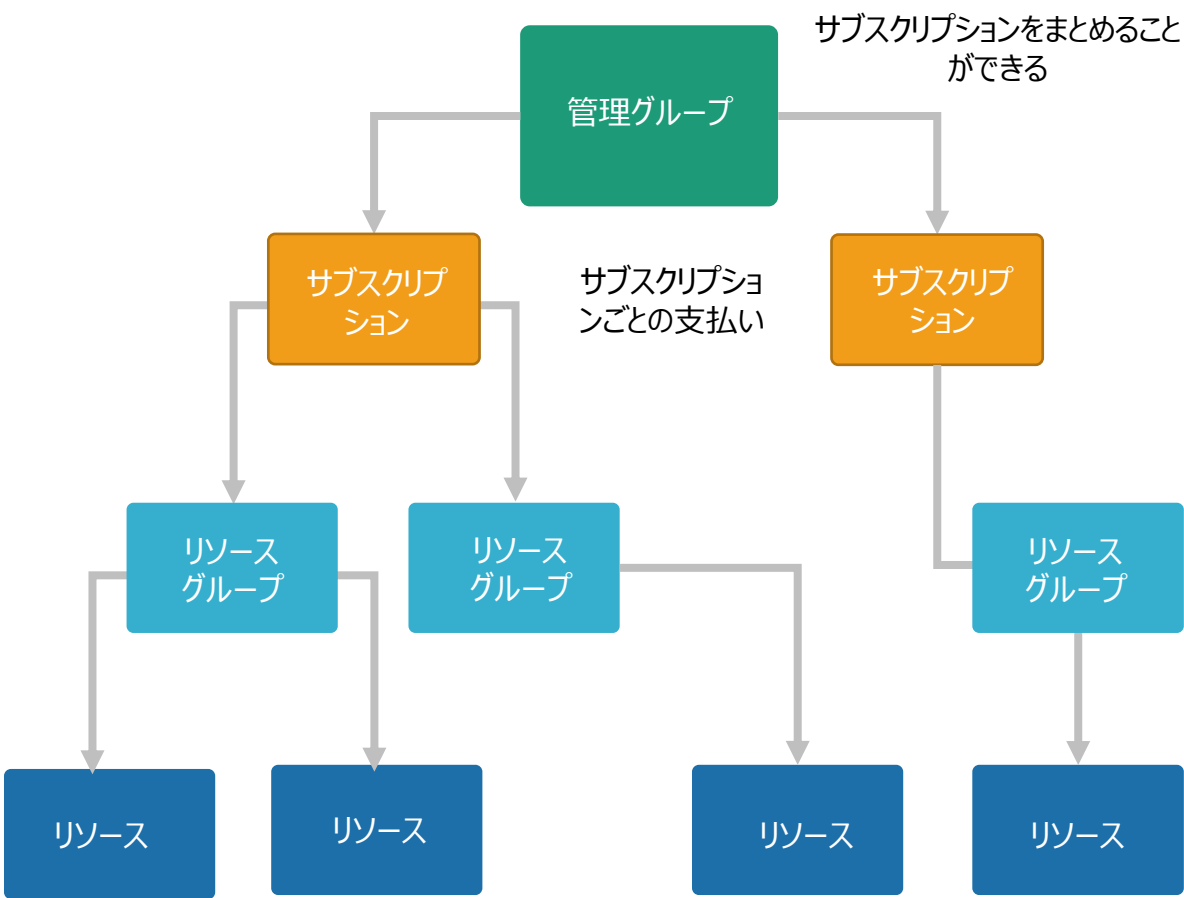
リソースグループとサブスクリプションの関係

AzureADテナント = 管理グループの階層構造

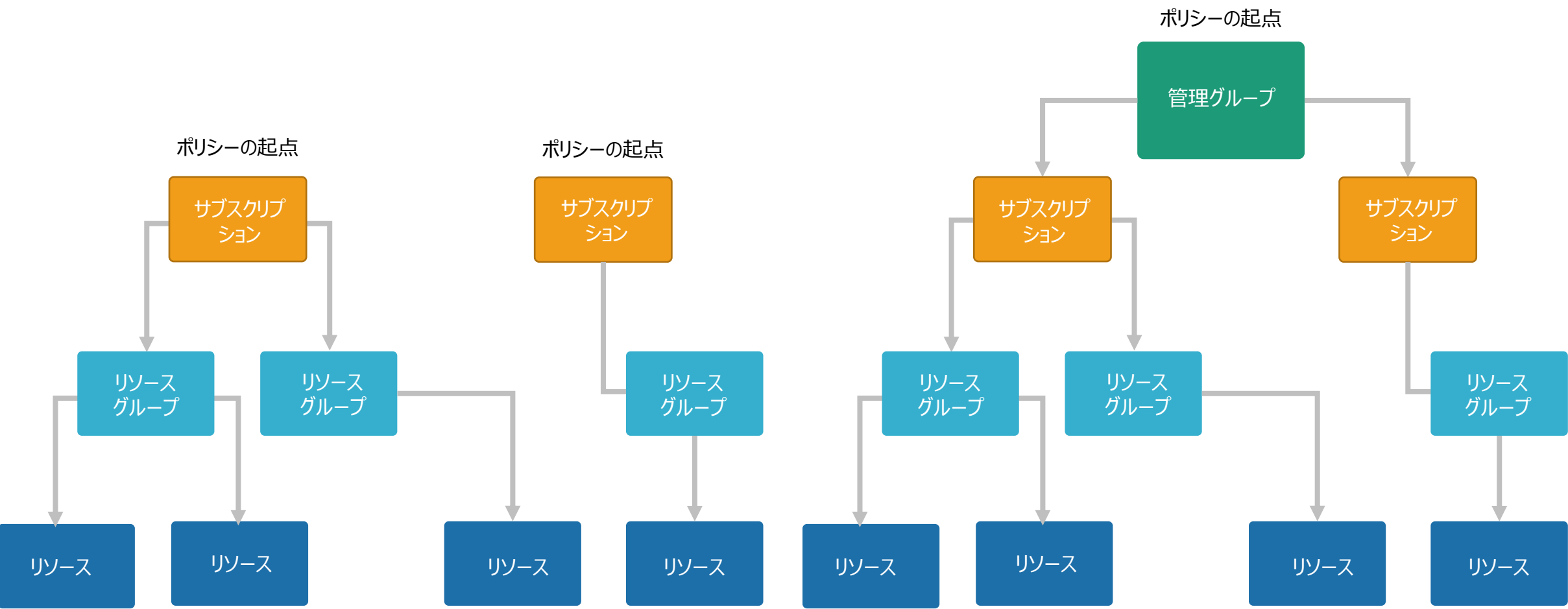


管理グループごとに請求を分けることができる

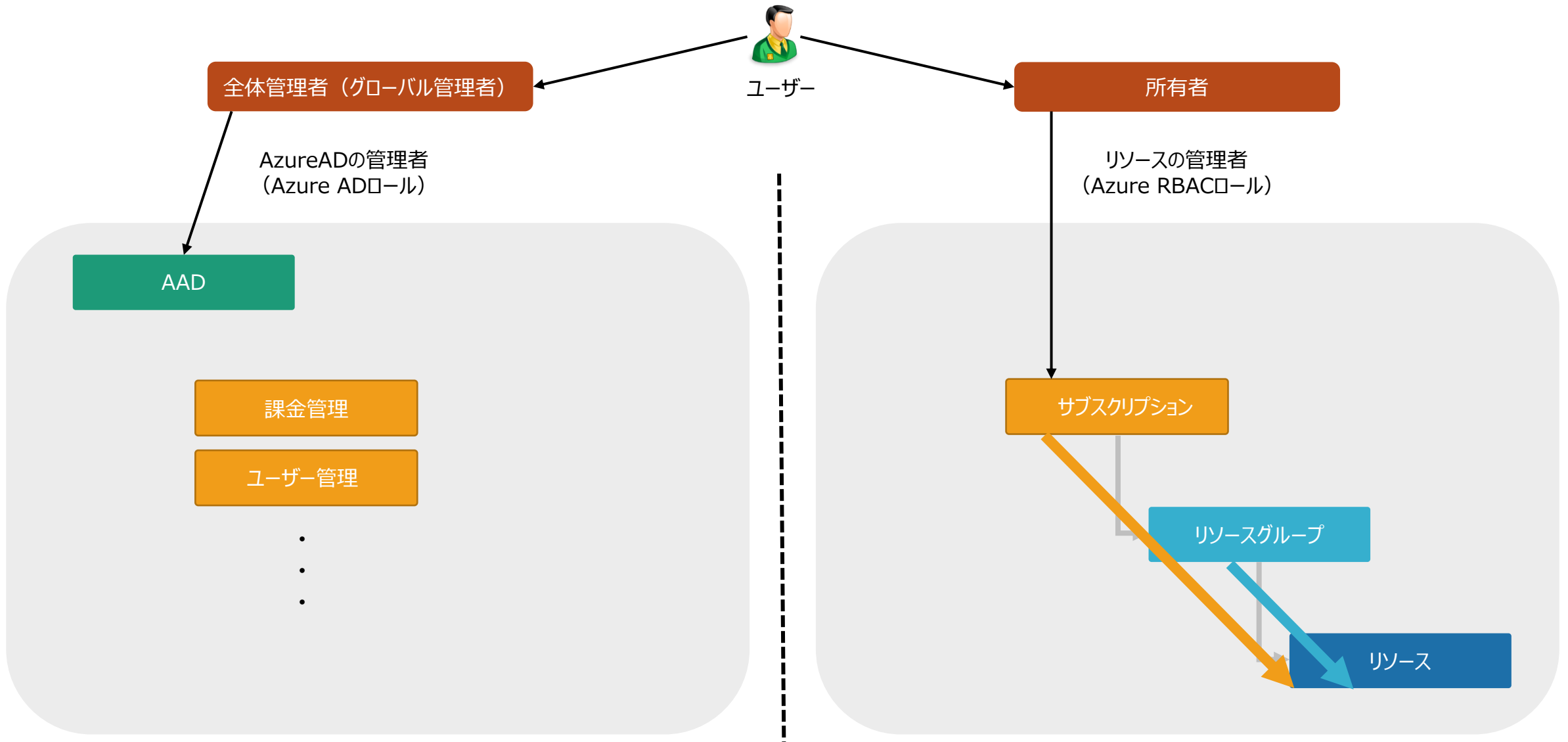
サブスクリプションの位置づけ



管理グループとポリシーの関係



ロール



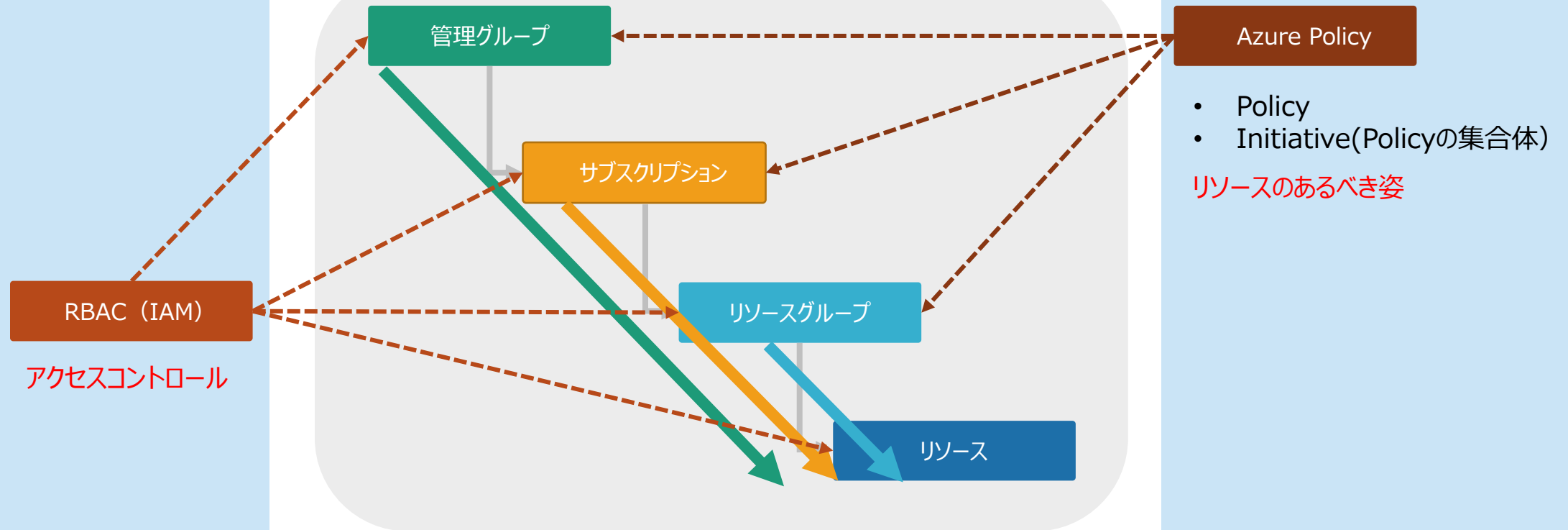
Azure階層とRBACロール

Azure Blueprints

- 組織のコンプライアンス設定可能
- バージョン設定
- RBACの拒否設定

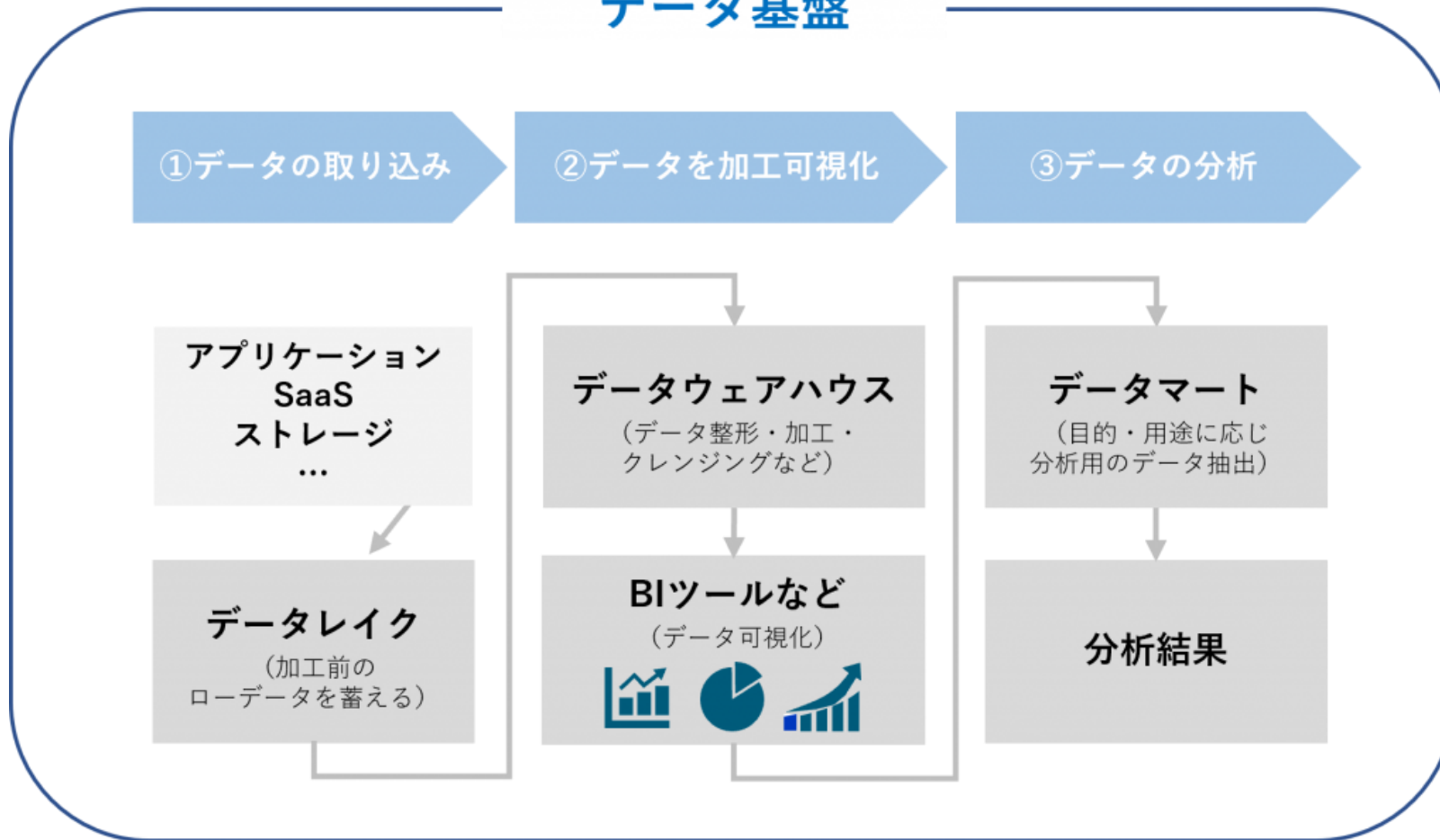
ARM Template

Azureのリソースを定義したJSONファイル



データ基盤

データ基盤



活用するAzureサービス

- Azure DataFactory
- Azure DataLake Storage

活用するAzureサービス

- Azure Databricks
- Azure Synapse Analytics
- Azure DataLake Analytics
- Power BI

活用するAzure サービス

- Azure Machine Learning
- Azure AD
- Microsoft Sentinel

①データの取り込み

オンプレミス、クラウド上のアプリケーションやデータベース、ストレージなどに散在するデータを収集し保存します。

②データを加工可視化

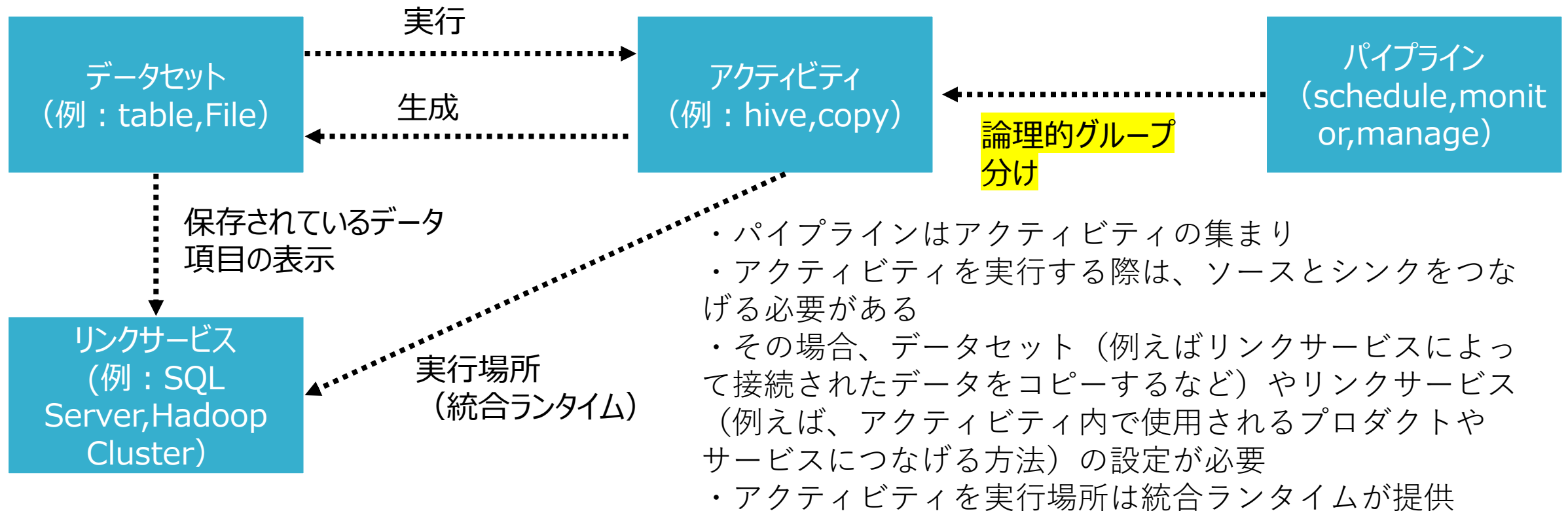
ローデータを分析しやすいように整形、加工、クレンジングします。加工したデータはグラフ化するなど可視化されます。

③ データ分析とガバナンス

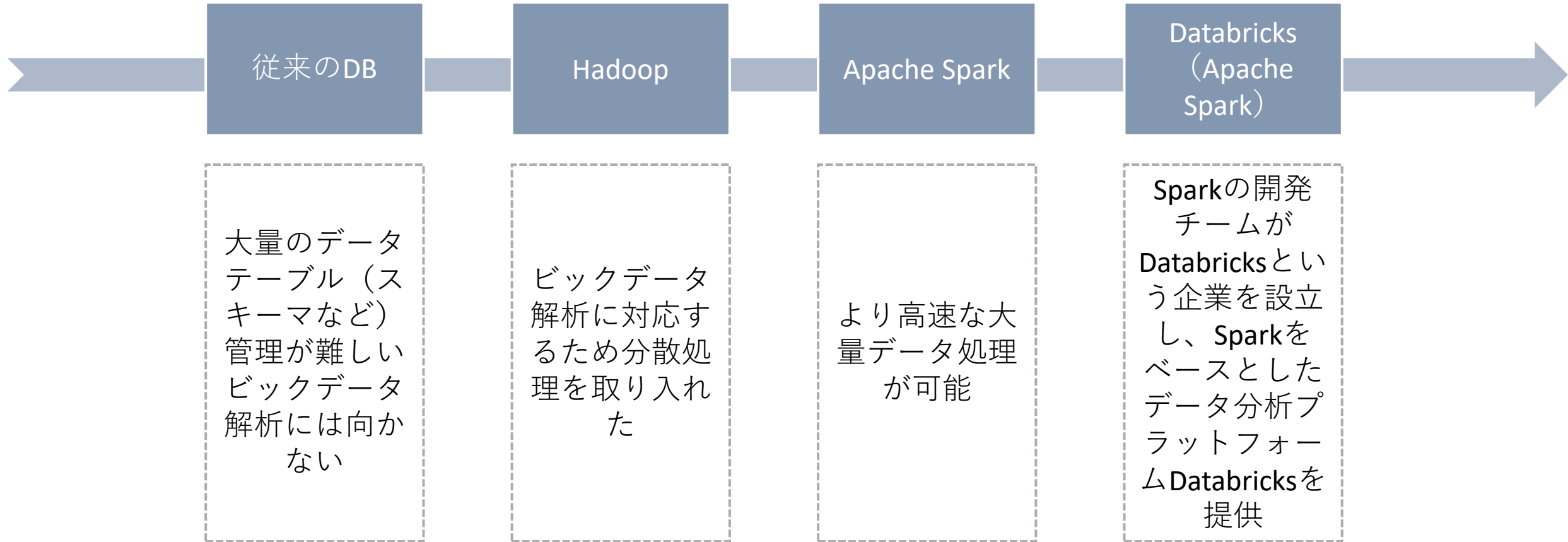
目的に合った結果が出せるよう分析手法を定めて、分析ツールを活用するなどして分析結果を導き出します。

Azure Data Factory

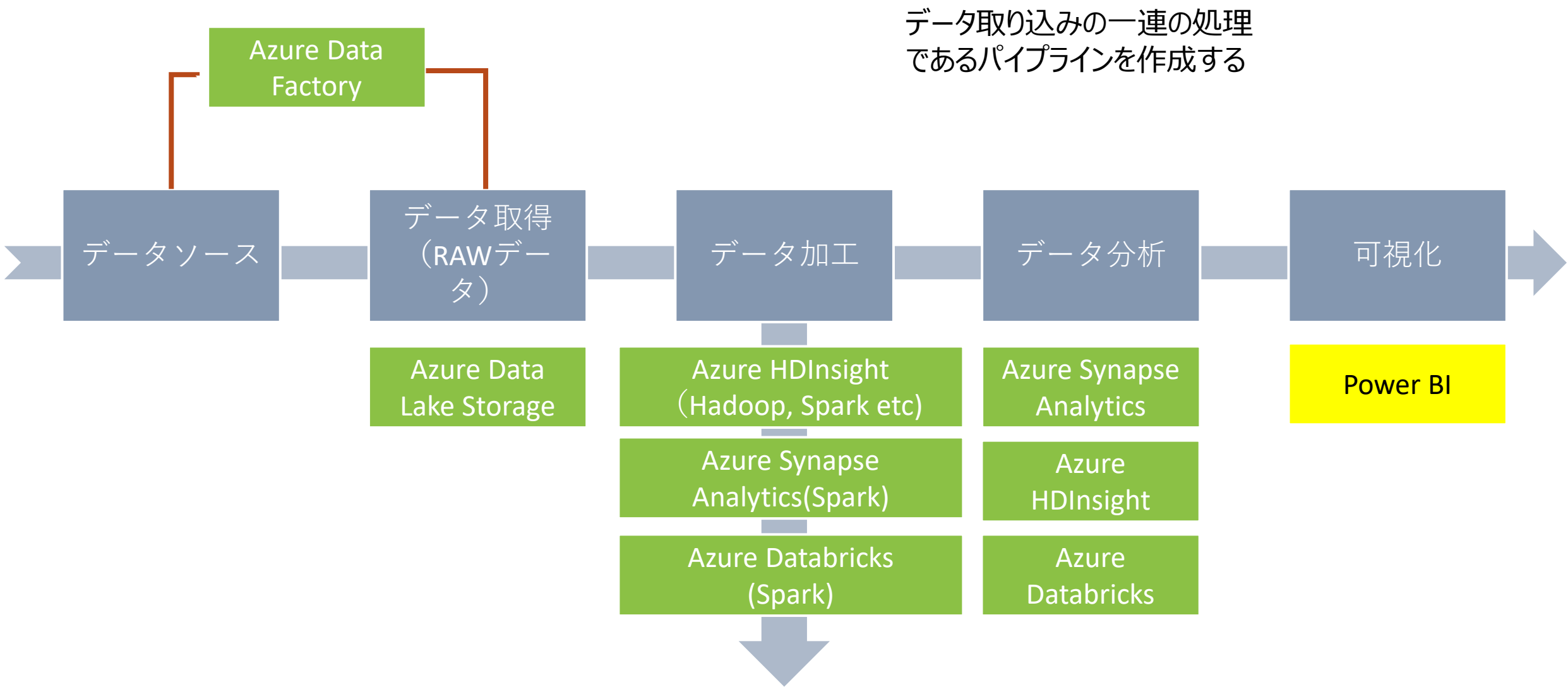
- SQLデータベースやファイルシステムなど多種多様なデータソースからデータを取得し、クレンジングしてデータストアに格納するといったデータの移動・変換を自動化するデータ統合サービスのこと
- Data Factoryには、リンクサービス、データセット、アクティビティ、パイプラインという4つの概念があります。



データ保管と処理の進化

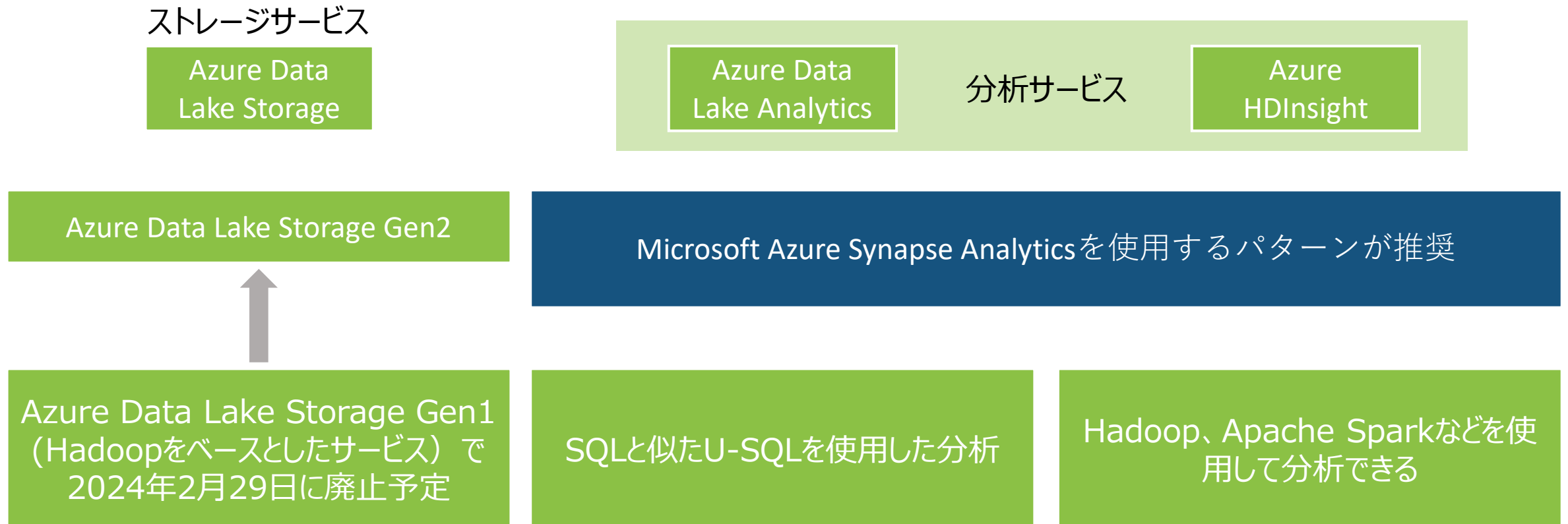


データ分析の流れを理解する



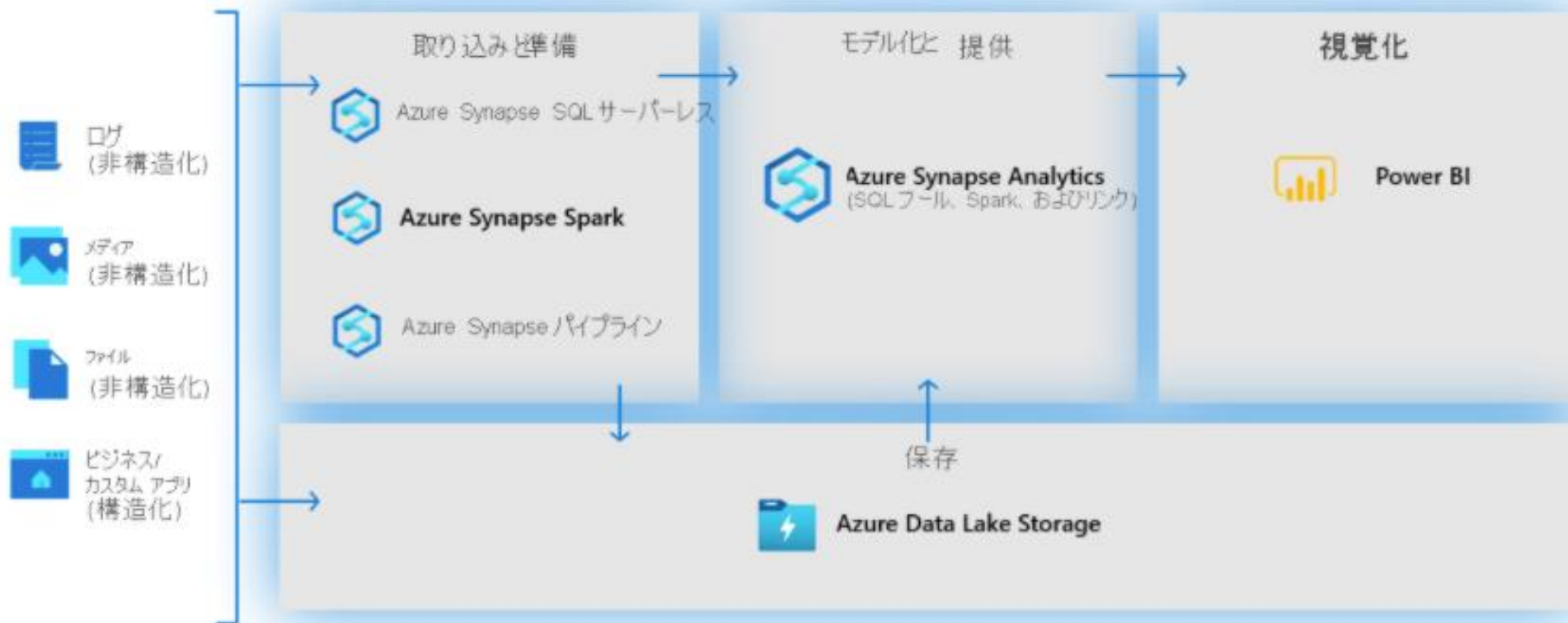
Azure Data Lake

- データレイクとは規模や形式にかかわらず全てのデータを一元的に保存できる格納庫のことです。データの形式は、RDBやCSVファイルのような規則性のある構造化データと、文書・画像・動画・音声など不規則な形式の非構造化データに大別できますが、あらゆるデータを**生データ（Raw Data）**のまま保管できることがデータレイクの最大の特徴



Azure Synapse Analyticsの構成

- Azure Synapse Analyticsのコンポーネントで使用できます。



Azure Synapse Analyticsの構成

- 既存サービスの一部をAzure Synapse Analyticsのコンポーネントに置き換えることも可能

